



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻窪 康裕 TEL 044-555-3800  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,492	29.9	975	10.8	1,232	39.9	751	34.0
2022年3月期第3四半期	12,695	36.7	880	—	881	—	561	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 937百万円 (55.4%) 2022年3月期第3四半期 603百万円 (329.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	132.32	—
2022年3月期第3四半期	98.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	25,240	10,619	41.3	1,832.42
2022年3月期	22,047	9,806	43.6	1,693.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,418百万円 2022年3月期 9,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	10.8	1,350	1.1	1,250	△13.1	700	24.2	123.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,693,135株	2022年3月期	5,683,150株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	7,670株	2022年3月期	7,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,682,202株	2022年3月期3Q	5,673,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の継続、エネルギー価格高騰、新型コロナウイルス感染拡大による中国における経済活動の停滞、米国をはじめ世界各国におけるインフレや金融引き締めなどの影響により、景気の減速感が強まりました。

国内においては、新型コロナウイルス感染対策の進展と行動制限の緩和により経済活動の正常化が進んだものの、為替相場が一時大きく円安に振れ、エネルギー価格や食料品価格の高騰と相まって物価上昇を招くなど、経済活動に大きな影響が及んでおります。

こうした状況下、当社グループにおいては半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の受注が調整局面を迎えたものの、自動車向け金型システム商品の需要が好調に推移し、受注高は17,345百万円（前年同期比2,215百万円、14.6%増）となりました。売上高は駆動システムの増産や、金型システムの売上増が大きく寄与し16,492百万円（前年同期比3,796百万円、29.9%増）となりました。

利益面に関しては、増収効果が寄与した一方、原価や諸経費の増加および品種構成の変化等もあり、営業利益は975百万円（前年同期比94百万円、10.8%増）となりました。経常利益は為替差益129百万円やロイヤリティ111百万円等の営業外収益もあり1,232百万円（前年同期比351百万円、39.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は751百万円（前年同期比190百万円、34.0%増）と、大幅な増益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○ 駆動システム

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の受注が第3四半期連結会計期間より生産調整局面を迎え、受注高は6,152百万円（前年同期比1,710百万円、21.8%減）となりました。一方売上高は潤沢な受注残を背景に生産体制増強に努めた結果6,767百万円（前年同期比510百万円、8.2%増）となり、営業利益は941百万円（前年同期比58百万円、6.6%増）と、増収増益となりました。

#### ○ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーター向け金型及び周辺システムに加えモータコア等の受注急増により、受注高は8,046百万円（前年同期比3,803百万円、89.6%増）と大幅な増加となりました。受注高の増加に伴い売上高も同様に7,097百万円（前年同期比3,067百万円、76.1%増）と大幅な増収となりました。

利益面においては、急激な受注増に対応して増産する為に外注加工費・資材購入費・償却費等が増加し、営業利益は242百万円（前年同期比40百万円、20.2%増）となりました。

#### ○ 機工・計測システム

当セグメントでは、自動車業界の生産減や部品納期の長期化等の影響を受けましたが、積極的な受注活動や調達努力により、受注高は3,155百万円（前年同期比124百万円、4.1%増）、売上高は2,637百万円（前年同期比221百万円、9.2%増）と前年同期を上回りました。収益面では、部材不足が続く中、原価上昇の影響もあって依然として厳しい状況が続いており、営業損失184百万円（前年同期は営業損失183百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25,240百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,192百万円増加しました。これは主に現金及び預金、棚卸資産の増加等により流動資産が2,804百万円、有形固定資産の増加等により固定資産が387百万円増加したことによるものです。

負債合計額は14,620百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,379百万円増加しました。これは主に短期借入金等の増加により流動負債が2,875百万円増加した一方、長期借入金の減少により固定負債が496百万円減少したことによるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は10,619百万円となり、前連結会計年度末と比較して813百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加等により株主資本合計が627百万円、為替換算調整勘定等の増加によりその他の包括利益累計額が177百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予測につきましては、個別業績は好調に推移しましたが、ドイツの海外子会社の移転が計画よりも遅延しておりそれが損益に与える影響を正確に見積もることが現時点では困難です。そのため2022年11月11日に公表した数字を変更しておりません。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,899,395	3,192,584
受取手形及び売掛金	3,944,367	4,720,706
電子記録債権	355,452	395,111
商品及び製品	1,259,987	1,825,115
仕掛品	2,027,353	2,515,474
原材料及び貯蔵品	955,126	1,342,920
その他	625,179	879,109
貸倒引当金	△3,993	△3,238
流動資産合計	12,062,870	14,867,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,380,604	2,368,917
機械装置及び運搬具(純額)	1,581,158	1,551,132
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産(純額)	692,246	766,331
建設仮勘定	70,325	282,812
その他(純額)	136,632	132,950
有形固定資産合計	6,730,722	6,971,899
無形固定資産		
のれん	734,079	757,429
その他	164,655	159,218
無形固定資産合計	898,734	916,648
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725,850	1,758,719
繰延税金資産	462,457	452,891
その他	168,896	286,302
貸倒引当金	△1,751	△13,923
投資その他の資産合計	2,355,453	2,483,990
固定資産合計	9,984,911	10,372,538
資産合計	22,047,781	25,240,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,610,155	1,716,754
電子記録債務	2,462,646	3,249,462
短期借入金	1,111,000	3,389,676
リース債務	138,218	165,677
未払法人税等	492,859	244,702
賞与引当金	359,293	138,420
受注損失引当金	7,716	1,004
資産除去債務	37,861	41,996
その他	1,102,408	1,250,253
流動負債合計	7,322,160	10,197,948
固定負債		
長期借入金	2,170,943	1,539,800
リース債務	576,961	623,075
再評価に係る繰延税金負債	358,749	358,749
役員退職慰労引当金	24,064	26,810
退職給付に係る負債	1,426,236	1,462,222
その他	362,367	412,187
固定負債合計	4,919,323	4,422,846
負債合計	12,241,484	14,620,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,911,680	1,920,737
資本剰余金	1,516,507	1,525,563
利益剰余金	4,289,026	4,899,032
自己株式	△9,067	△9,225
株主資本合計	7,708,147	8,336,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	697,490	655,557
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	355,459	577,750
退職給付に係る調整累計額	37,004	34,368
その他の包括利益累計額合計	1,904,356	2,082,078
非支配株主持分	193,793	201,340
純資産合計	9,806,297	10,619,527
負債純資産合計	22,047,781	25,240,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	12,695,556	16,492,129
売上原価	9,211,850	12,536,510
売上総利益	3,483,705	3,955,619
販売費及び一般管理費	2,602,896	2,980,082
営業利益	880,809	975,537
営業外収益		
受取配当金	22,760	26,525
為替差益	25,956	129,064
持分法による投資利益	683	1,441
設備賃貸料	29,590	29,577
スクラップ売却益	23,551	25,531
受取ロイヤリティー	1,702	111,615
その他	28,508	70,367
営業外収益合計	132,753	394,122
営業外費用		
支払利息	43,365	47,736
売上割引	25,689	—
クレーム対策関連費用	—	31,091
シンジケートローン手数料	2,694	3,791
その他	60,671	54,338
営業外費用合計	132,420	136,958
経常利益	881,142	1,232,701
特別利益		
固定資産売却益	10	16,690
雇用調整助成金	23,573	—
特別利益合計	23,583	16,690
特別損失		
固定資産除却損	454	105
新型コロナウイルス感染症関連損失	40,573	—
特別損失合計	41,028	105
税金等調整前四半期純利益	863,697	1,249,285
法人税、住民税及び事業税	275,941	460,581
法人税等調整額	15,052	38,192
法人税等合計	290,993	498,773
四半期純利益	572,704	750,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,525	△1,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	561,178	751,895

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	572,704	750,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,943	△41,933
為替換算調整勘定	38,068	231,640
退職給付に係る調整額	320	△2,635
その他の包括利益合計	30,445	187,071
四半期包括利益	603,150	937,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	588,525	929,616
非支配株主に係る四半期包括利益	14,624	7,967



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,252,375	4,030,119	2,413,061	12,695,556	—	12,695,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,957	—	3,133	8,090	△8,090	—
計	6,257,332	4,030,119	2,416,194	12,703,646	△8,090	12,695,556
セグメント利益又は損失 (△)	882,399	201,769	△183,785	900,383	△19,573	880,809

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△19,573千円は、セグメント間取引消去91千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△19,665千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,761,991	7,097,198	2,632,939	16,492,129	—	16,492,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,355	—	4,536	9,891	△9,891	—
計	6,767,347	7,097,198	2,637,475	16,502,021	△9,891	16,492,129
セグメント利益又は損失 (△)	941,071	242,603	△184,338	999,336	△23,799	975,537

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△23,799千円は、セグメント間取引消去167千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△23,967千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。